

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

R4年 6月 22日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島市鴨池新町21号1号

氏 名 鹿児島市管工事協同組合

理事長 福山 康洋

電話番号 099-257-0081

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

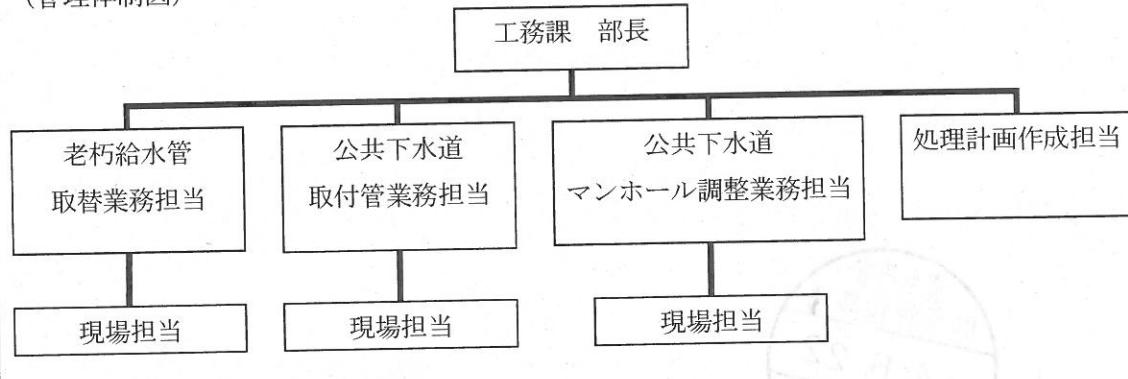
事業場の名称	鹿児島市管工事協同組合
事業場の所在地	鹿児島市鴨池新町21番1号
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：設備工事業 小分類：管工事業（さく井工事業を除く）
②事業の規模	前年度 元請け完成工事高 3億4千万円
③従業員数	14名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	分別 ↓ 現場にて分別（アスファルトがら・コンクリートがら） 運搬 ↓ 自社運搬又は、許可された収集運搬業者へ委託 処理 産業廃棄物処理業者へ処理を委託

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排 出 量	別添 内訳表【A】	
(これまでに実施した取組) 施工ミスによる廃棄物の発生を招かないよう、施工管理を徹底する。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	排 出 量	別添 内訳表【B】	
(今後実施する予定の取組) 受注内容により廃棄物の排出量は変動するが、 昨年度同様に、施工管理を徹底することで、廃棄物の発生を抑えるよ う努力する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：コンクリートがら・アスファルトがら 現場にて分別を行い、再生可能な処理業者へ処分を委託している。	
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取り組みを徹底し、再生利用の促進に努める。	
②計画		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組)			
実績なし			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
② 計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組)			
予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
① 現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	—
自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量			—
(これまでに実施した取組)			
実績なし。			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
② 計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—	—
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量			—
(今後実施する予定の取組)			
予定なし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—
(これまでに実施した取組) 実績なし		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—
(今後実施する予定の取組) 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	別添 内訳表
	全処理委託量	別添 内訳表【K】
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳表【L】
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳表【M】
	認定熱回収業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
(これまでに実施した取組) 全ての委託先と「建設廃棄物処理委託契約書」を交わし、マニフェストにより処理管理を行っている。 処理の委託先は、優良認定処理業者または再生利用業者とした。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	全処理委託量	別添 内訳表【P】	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳表【Q】	
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳表【R】	
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	
<p>(今後実施する予定の取組) 「建設廃棄物処理委託契約書」を交わし、マニフェストにより処理管理を行う。</p> <p>廃棄物の処理の委託先として、優良認定処理業者または再生利用業者を積極的に利用する。</p>			
※事務処理欄			

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

(お願い:2種類までは計画書に記載することができますが、複数の場合はご使用ください)

別添内訳書

数字(t)

廃棄物の排出の抑制に関する事項		がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン (※)	紙くず	汚泥	建設混合 廃棄物 (※)	廃油	合計
(1)現状(前年度実績) 排出量【A】		1,138	—	—	—	—	—	—	—	—	1,138
(2)計画(今年度目標) 排出量【B】		1,100	—	—	—	—	—	—	—	—	1,100
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
(1)現状(前年度実績) 自ら再生利用を行った量【C】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
(2)計画(今年度目標) 自ら再生利用を行う量【D】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
(1)現状(前年度実績) 自ら熱回収を行った量【E】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
(2)計画(今年度目標) 自ら中間処理により減量する量【F】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
(1)現状(前年度実績) 自ら中間処理を行った量【G】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
(2)計画(今年度目標) 自ら中間処理により減量する量【H】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項											
(1)現状(前年度実績) 自ら埋立処分を行った量【I】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
(2)計画(今年度目標) 自ら埋立処分を行う量【J】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
産業廃棄物の委託に関する事項											
(1)現状(前年度実績) 全処理委託量【K】		1,138	—	—	—	—	—	—	—	—	1,138
		95	—	—	—	—	—	—	—	—	95
(2)計画(今年度目標) 全処理委託量【P】		1,100	—	—	—	—	—	—	—	—	1,100
		100	—	—	—	—	—	—	—	—	100
内訳 愛良認定処理業者へ処理を委託した量【L】											
(1)現状(前年度実績) 再生処理業者へ処理を委託した量【M】		1,043	—	—	—	—	—	—	—	—	1,043
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
(2)計画(今年度目標) 全処理委託量【P】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
内訳 再生利用業者へ委託する量【R】											
(1)現状(前年度実績) 認定熱回収業者へ処理を委託する量【S】		1,000	—	—	—	—	—	—	—	—	1,000
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量【T】											
(2)計画(今年度目標) 認定以外の熱回収業者へ処理を委託する量【T】		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0
		0	—	—	—	—	—	—	—	—	0

*カラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(陶石膏ボードもガラ・コンの項目です)

*建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。